

平成27年度 当初予算主な事業一覧

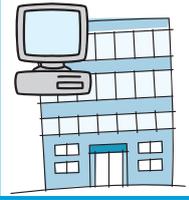
※新規事業

予算のなかみ

所属	No.	事業名	事業費：千円
総務部			
総務課	1	消防団員確保対策事業	2,592
企画課	2	資源磨き構想策定事業	3,793
	3	第2次総合計画策定事業	8,644
	4	ふるさと納税推進事業	383,133
	5	※市民活動センター管理運営事業	4,328
	6	社会保障・税番号制度の創設に伴うシステム改修事業	38,820
	7	※公衆無線LAN(Wi-Fi)環境構築事業	2,392
財政課	8	※旧芦刈庁舎解体事業	54,854
	9	※公共施設等総合管理計画策定事業	10,098
市民部			
市民課	10	※通知カード・個人番号カード交付事業	16,105
環境課	11	天山地区共同環境組合事業	50,612
福祉部			
福祉課	12	臨時福祉給付金支給事業	49,450
	13	※生活困窮者対策事業	4,008
産業部			
農林水産課	14	青年就農給付金給付事業	19,125
	15	6次産業化事業	3,108
	16	沿岸漁場整備開発事業	6,300
	17	※市営漁港整備事業	1,842
農村整備課	18	多面的機能支払交付金事業	224,936
	19	※ため池耐震性詳細調査事業	11,235
	20	県営農業競争力基盤整備事業(多久導水路地区)	9,553
	21	県営水利施設整備事業 基幹水利施設保全部(新村地区)	24,000
	22	農業基盤整備促進事業【暗渠配水】	121,111
	23	※農業基盤整備促進事業【用排水路整備】	16,280
商工観光課	24	小城市宣伝隊事業	16,732
建設部			
建設課	25	市道蒲原・永田線改良事業	11,240
	26	スマートインターチェンジ整備事業	48,949
	27	市道甘木線改良事業(社会資本整備総合交付金事業)	115,760
	28	市道住ノ江・社搦線改良事業(社会資本整備総合交付金事業)	135,000
	29	橋りょう長寿命化修繕事業	52,900
	30	※県営住ノ江港 防災・安全事業	1,000
	31	市営住宅建替事業	767,153
	32	※小城市立地適正化計画策定事業	5,400
都市整備推進室	33	市道小城公園・本告線歩道設置事業	40,980
	34	まちなか市民交流プラザ等整備事業	71,971
中心市街地 活性化推進室	35	※小城地区都市再生整備計画策定事業	7,355
	36	※まちなか市民交流プラザ維持管理事業	23,968
下水道課 (下水道特別会計)	37	農業集落排水施設機能強化対策事業	8,056
	38	特定環境保全公共下水道事業(三日月処理区)	668,364
	39	公共下水道事業(小城処理区)	807,188
教育委員会			
教育総務課	40	牛津小学校施設大規模改造事業	185,510
	41	※桜岡小学校プール改築事業	19,990
	42	※防災機能強化事業	31,305
学校教育課	43	放課後児童クラブ建設事業	25,336
	44	放課後児童健全育成事業	109,719
こども課	45	子育て世帯臨時特例給付事業	27,375
	46	※子どものための保育給付等事業	872,227
	47	※子どものための教育給付事業	102,941
生涯学習課	48	身近なユニバーサルデザイン(トイレ様式化)推進事業(自治公民館分)	1,600
	49	牛津公民館等改修事業	317,252
	50	三日月体育館改修事業	6,249
文化課	51	梧竹デジタルミュージアム事業	3,669
	52	※中林梧竹特別展覧会開催事業	1,782

主な事業

総務・市民



資源磨き構想策定事業

379万円

地方創生による活性化、まちづくりの柱として、アイルの温泉を核とする「温泉・スポーツ・医療」が連携した拠点づくりのブランドデザイン（基本構想）を策定する。
問 具体的な予算や内容は、
答 27年度中に基本構想を策定するので、その中で示す。

ふるさと納税推進事業

3億8,313万円

ふるさと納税で27年度は7億円の収入を見込んでいたが、ふるさと納税を頂いた小城市外在住の

方にお礼の品を進呈し、寄附金をふるさと応援推進事業として活用する。
問 27年度は、予算計上の通り7億円の寄附金が本当に見込めるのか。
答 ポータルサイトでの広告の効果は大きく、達成できると見込んでいる。

ふるさと納税による寄付額ランキング (2014年)

自治体と金額	特徴
1 長崎県平戸市 12億7884万円	有効期限なしのポイント制を導入
2 佐賀県玄海町 9億3206万円	10万円の寄付で1年間毎月、旬の特産品を提供
3 北海道土幌町 9億1098万円	ブランド牛「十勝ナイタイ和牛」が好評
8 佐賀県小城市 4億2822万円	和牛など約50種類の特典から選べる

※順位と金額はトラストバンク調べ

市民活動センター管理運営事業

432万円

市民活動を支援すると共に、市民協働の推進を図るための拠点施設とし

て、「市民活動センター」をまちなか市民交流プラザ内に設置する。
問 事業費のうちわけは。
答 備品購入費253万円、委託料161万円となっている。

公共施設等総合管理計画策定事業

1,009万円

道路、橋梁等のインフラを含む施設の老朽化や今後の人口減少等による利用需要が変化していくことが予想されるため、長期的な視点をもって、最適な配置等をすすめる。
問 どのような計画で実施するのか。
答 27年度に調査を実施し、28年度に統廃合を含む具体的な方針を決める。

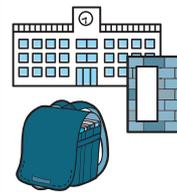
通知カード・個人番号カード交付事業

1,610万円

個人番号カードの導入により、行政手続きの簡

素化、利便性の向上、行政の効率化を図る。
問 具体的なにどのようなメリットがあるのか。
答 社会保障、税、災害対策の分野において、複数の機関が保持している個人情報結びつけ効率的な行政運営を図る。また所得証明書などの添付書類を不要とし、手続きの簡素化を図る。

教育・文化・福祉



防災機能強化事業

3,130万円

学校の体育館の天井等の耐震対策のために落下防止の処置を施す。
問 内容の詳細については。
答 体育館照明器具に落下防止ワイヤーを設置したり、軽量天井に改修する。

放課後児童クラブ建設事業

2,533万円

市内8小学校内で、放課後児童クラブを開設し事業を実施してきたが、待機児童の解消と増加する入級希望者への対応を行うため、新增設を行う。
問 今年度の予定は。
答 砥川小学校に増設する。

放課後児童健全育成事業

1億971万円

女性の就労機会の増加や少子化が進行する中、保護者が仕事と子育ての両立を図るため、放課後に対象児童が安全で健康に過ごせる居場所を提供し、児童の健全育成を図る。
問 事業費の主なものは。
答 主にスタッフの人件費。ほかに空調機器の設置費なども含まれる。



▲放課後児童クラブ健全育成事業

三日月体育館改修事業

624万円

雨漏りしている体育館の改修事業の実設計。
問 28年度完成の予定だが、利用者も多い。早急にすべきではないか。
答 手順を踏むと28年度の完成の予定だが、なるべく早く進むよう努力する。

歴史的建造物活用事業

500万円

歴史的建造物を活用して小城市の特性を活かした起業モデルや人材を発掘する。

問 対象の基準と委託先について。

答 国登録有形文化財や武家屋敷、町屋等5か所程の候補があるが、1か所に絞り込む。委託先については公募し、提案型で決定する。

生活困窮者対策事業

400万円

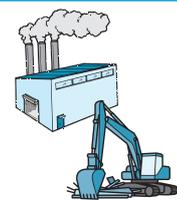
生活保護に至る前の段階の自立支援を強化する。

問 事業内容と担当部署の体制については。

答 生活保護には至らないが何らかの支援を必要とする相談に対し、計画を立てて支援をする。福祉課で担当し、主任相談支援員1名、自立支援

員・就労支援員（兼務1名）を置く。

産業・建設



市営住宅建替事業

7億6,715万円

牛津地区の市営住宅の建替。本年度は1号棟32戸の工事費など。

問 当初計画から事業費が膨らんでいるが、その理由と節減はどうしたのか。

答 人件費等の単価上昇、消費税の増などで工事費が増加した。市営住宅の建築基準に適合させながら工事費の縮減に努力した。

まちなか市民交流プラザ維持管理事業

2,396万円

本年9月に完成予定の

まちなか市民交流プラザの管理運営費等で、28年1月全館開館予定。

問 管理運営を民間事業者に行わせる予定であるが、今年度の管理運営費は。

答 10月から開館準備に取り組む。予算は開館イベント費用等を含んでいるが、開館後の管理運営費は、会議室や商工会議所等の使用料収入を除いて、人件費、光熱水費等の経費を計上している。

小城市立地適正化計画策定事業

540万円

人口の減少と高齢化を背景とした都市機能の適正な立地誘導を図り、ネットワーク型「コンパクトシティ」の実現に向けた立地適正化計画を策定する。

問 計画策定後はどうされるか。コンパクトシティは実現できるか。

答 居住誘導地域を設けて人口減に歯止めをかけるなど、機能向上を目指していく。

青年就農給付金給付事業

1,912万円

就農前後の青年新規就農者に対し、年間150万円を給付（最長5年間）。

問 対象者は。

答 経営開始型の新規就農者11名と2組の夫婦。地区別は、小城市3人、三日月町2人と夫婦2組、牛津町3人、芦刈町2人で、1人は予備。作

物は、米麦・ミカン・イチゴ・ナス等を作付。

小城市地区都市再生整備計画策定事業

735万円

西九州大学看護学部誘致予定地周辺（現小城市公民館）の環境整備計画の策定など。

問 大学誘致の青写真はできている。計画策定は必要か。整備計画を策定しなければ社会資本整備交付金がもらえないか。

答 交付金は計画策定が前提条件である。



▲誘致計画の予定地

<補正（第8号）の主なもの>

事業名	補正予算額
海苔養殖漁場環境改善緊急対策事業	84万円
県営クリーク防災機能保全対策事業「小城市地区」	300万円
県営農業競争力基盤整備事業（多久導水路地区）	610万円
スマートインターチェンジ整備事業	911万円減
保育所等緊急整備事業	3,068万円減

<補正（第9号）の主なもの>

事業名	補正予算額
小城市まるごと情報発信事業	2,033万円
小城市版地方創生総合戦略策定事業	712万円
プレミアム付商品券発行事業	9,096万円
ふるさと“小城市”魅力発信事業	2,072万円
歴史的建造物活用事業	500万円